

# 高速ターミナルプリンターMP - 03Win

アプリケーションソフト **スピーディー3**

取扱説明書

株式会社 壬生電機製作所

# 安全にお使いいただくために

## 故障かな・・・と思ったときには

万一、異常な音がする、煙が出ている、変な臭いがする場合は、すぐに電源をOFFにして電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。

(そのまま使用されますと発火、感電の恐れがあります。)

発煙、発火の無いことを確認してから、ご購入店または壬生電機製作所に修理のご連絡ください。

お客様による修理は大変危険ですから絶対におやめ下さい。

## 取扱い上の注意

濡れた手で触らないで下さい。

濡れた手で本機の操作や電源コードの接続はおやめください、感電の原因となります。

本機の上に物を置かないで下さい。

本機の上に物を置かれますと(特に飲み物)内部に入る恐れがあります、内部に異物が入ると火災の原因になります。

## 持ち運ぶ時の注意

電源コードやケーブルを付けたまま動かさないでください。

移動の時には必ず本機の電源スイッチをOFFにしてから持ち運びして下さい、接続したままですと電源コードやケーブルが傷つき、火災、感電の恐れがあります。

## **雷の時の注意**

### **雷が鳴り出したら**

雷が鳴り出したら、本機及びその周辺機器、ケーブル、電源コードに触れないで下さい。落雷による感電の恐れがあります。

## **電源の利用について**

電源は必ず A C 100 V ( 50/60Hz ) を使用して下さい。

A C 100 V ( 50/60Hz ) 以外で使用しますと、感電、火傷、発煙、火災の原因となります。

電源コードを束ねたり、上に物を置かないで下さい。

コードを束ねたり、上に物を置きますと感電、火傷、発煙、火災の原因となります。

タコ足配線はしないで下さい。

電源コードをタコ足配線しますとコンセントが加熱し、火傷、火災の原因となります。

長期間使用しない時の注意。

長期間ご使用にならない場合は、必ず電源コードをコンセントから抜き取ってください。

# もくじ

安全にお使いいただくために	1
もくじ	3

## スピーディー 3 の操作方法

### ，インストール編

1，インストール可能なパソコン	5
2，インストール方法	5

### ，基本操作編

1，スピーディー 3 を起動する	6
2，長尺記銘板の初期設定を行う	7
3，マスメラベルの初期設定を行う	8
4，長尺ラベルの初期設定を行う	9
5，よく使うサイズを登録する	10
6，データ入力をする	10
7，入力データの印字をする	11

### ，応用操作編

1，各ランチャーの説明	12
2，マウスの右クリックメニューを使う	13
3，連番入力をする	14
4，フォント・文字サイズを変更する	15
5，記銘板のピッチを変更する	17
6，複数の段落を印字する	18

## **, 環境設定編**

- 1 , 環境設定のシステムを変更する . . . . . 19
- 2 , 環境設定のデフォルトを変更する . . . . . 20
- 3 , 環境設定のその他の項目設定する . . . . . 23
- 4 , C S V ファイルを変換して利用する . . . . . 24

## **, 特殊入力編**

- 1 , 背景を作成する . . . . . 25
- 2 , データを配置する . . . . . 27

# 、インストール編

この章ではアプリケーションソフト スピーディー3をパーソナルコンピュータにインストールする方法について説明しています。

## 1、インストール可能なパソコン

### 動作環境

<b>動作OS</b>	Windows 9 8 , N T 4.0SP3 以上 , M e , 2 0 0 0 , X P
<b>必要なソフト</b>	Internet Explorer 4.0 以上 ( ヘルプファイルを見る場合に必要 )
<b>対応機種</b>	Pentium 1 6 6 MHz以上で上記動作OSがプリインストールされたパーソナルコンピュータ
<b>メモリ</b>	Windows98 , N T 4.0SP3 , 6 4 M B 以上 ( 推奨 9 6 M B 以上 ) 1 0 M B 以上の空きメモリがある事
<b>ディスプレイ</b>	解像度 800×600 ドット 256 色以上 ( 推奨 1024×768 ドット ) 本体に接続可能で動作OSに対応したディスプレイ
<b>ディスクドライブ</b>	C D - R O M ドライブ必須 ( インストール時のみ )
<b>ハードディスク</b>	空き容量が 2 0 M B 以上あること ( データ領域は別途必要 )
<b>マウス</b>	本体に接続可能で動作OSに対応したマウス

## 2、インストール方法

“スピーディー3”のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットして下さい。  
CD-ROMのAUTORUN機能により自動的にインストーラが起動されます、その後のインストール作業はインストーラの画面の指示に従って行って下さい。

注、AUTORUN機能が働かない場合はCD-ROMのルートフォルダにある  
「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動して下さい。

注、Windows N T 4.0SP3 にスピーディー3をインストールする場合は Administrator  
権限でログオンする必要があります。

# 基本操作編

この章ではスピーディー3の基本的な操作について説明しています。

ここでは記録版データを例に取り上げていますが基本的な操作はどのワークに対してもほぼ同じ操作方法でデータの編集を行う事が可能です。

## 1. スピーディー3を起動する

この章ではスピーディー3(アプリケーションソフト)の起動方法について説明しています。

デスクトップ上にある「スピーディー3」のアイコンをダブルクリック、又は スタートボタン > プログラム > MP - 03Win > スピーディー3をクリックします。

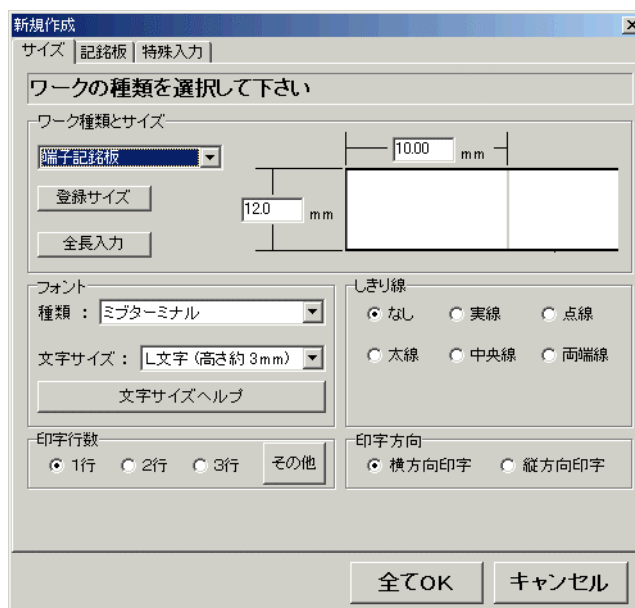
次にスタートメニューが表示されますので新規作成のボタンをクリックして下さい。

今までに作ったファイルを開く場合は [ファイルを開く] ボタンをクリックして下さい。



新規作成のメニューが表示されます。ここで印字したいワークを選んでください。

引き続き、各ワークの「初期設定を行う」の章に進んで下さい。



## 2 , 長尺記銘板の初期設定を行う

この章では長尺記銘板モードの初期設定の方法について説明しています。

～ に従って項目の設定を行います。

選択した項目の説明が表示されます。

「ワークの種類」を長尺記銘板の名前を選択します。

登録サイズを読み込み・保存します。

ピッチを入力するのに組んだ端子台の全長から計算するときを使用します。

印字したい記銘板の幅をメッセージに従って入力します。

記銘板のピッチ（1極当りの長さ）をメッセージに従って入力します。

印字したいフォントの種類を選択します。

文字のサイズを選択します。

文字サイズについての説明が表されます。

印字したい行数を選択します。

印字行数や段落を作成・設定します。

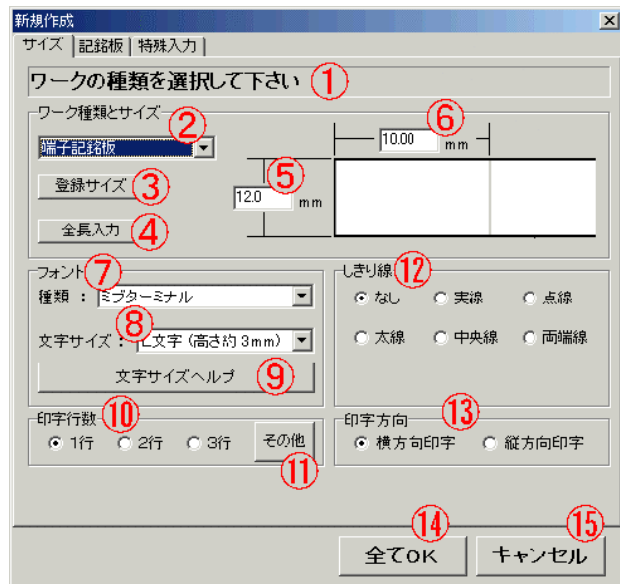
しきり線を選択します。

印字の文字の方向を選択します。

全ての設定が終われば[全て OK]ボタンを押して下さい。

初期設定をキャンセルします。

良く使う設定値は の[登録サイズ]のボタンで保存すると次回の起動時に設定を読み込む事が出来ます。





### 3 , マスメラベルの初期設定を行う

この章ではマスメラベルモードの初期設定の方法について説明しています。

～ に従って項目の設定を行います。

選択した項目の説明が表示されます。

「ワークの種類」をマスメラベルの名前を選択します。

登録サイズを読み込み・保存します。

印字したいマスメラベルの幅をメッセージに従って入力します。

マスメラベルの長さをメッセージに従って入力します。

印字したいフォントの種類を選択します。

文字のサイズを選択します。

文字サイズについての説明が表示されます。

印字したい行数を選択します。

印字行数や段落を作成・設定します。

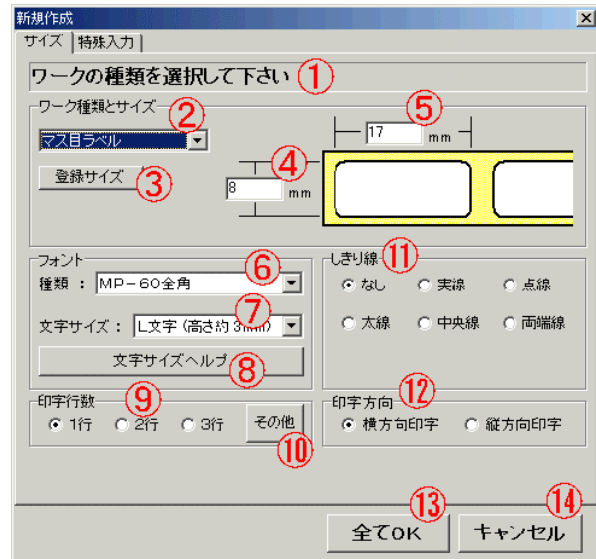
しきり線を選択します。

印字の文字の方向を選択します。

全ての設定が終われば[全て OK]ボタンを押して下さい。

初期設定をキャンセルします。

良く使う設定値は の[登録サイズ]のボタンで保存すると次回の起動時に設定を読み込む事が出来ます。



## 4 , 長尺ラベルの初期設定を行う

この章では長尺ラベルモードの初期設定の方法について説明しています。

長尺ラベルにはラベルの台紙の中央にラベルが付いているものと、台紙の端に付いているものがあります、(中央)や(端)の表示でどちらのラベルを使用するかワークの種類を選択して下さい。

～ に従って項目の設定を行います。

選択した項目の説明が表示されます。

「ワークの種類」で長尺ラベルの名前を選択します。

登録サイズを読み込み・保存します。

印字したい長尺ラベルの幅をメッセージに従って入力します。

長尺ラベルの長さをメッセージに従って入力します。

印字したいフォントの種類を選択します。

文字のサイズを選択します。

文字サイズについての説明が表示されます。

印字したい行数を選択します。

印字行数や段落を作成・設定します。

しきり線を選択します。

印字の文字の方向を選択します。

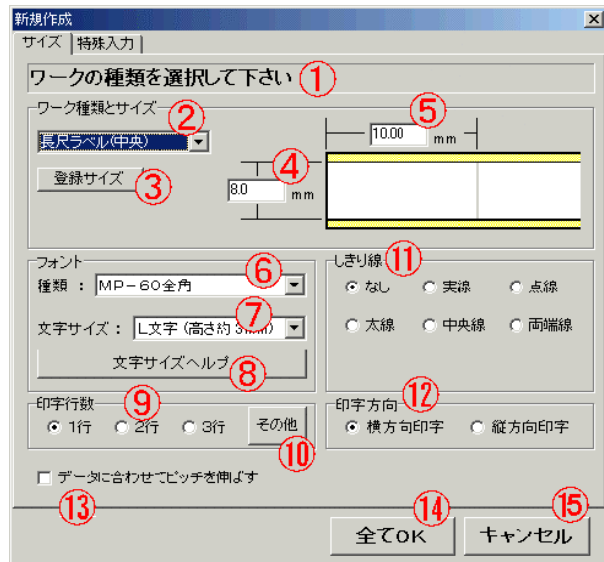
このチェックボックスにチェックを入れると、入力したデータが の長尺ラベルのピッチ ( 1 極当りの長さ ) を上回った時に自動的にワークの長さを伸ばします。

( 記銘板・マスメラベルモードでは使用出来ません )

全ての設定が終われば[全て OK]ボタンを押して下さい。

初期設定をキャンセルします。

良く使う設定値は の[登録サイズ]のボタンで保存すると次回の起動時に設定を読み込む事が出来ます。



## 5 , 良く使うサイズを登録する

登録したいサイズの初期設定の項目を全て入力してください、

次に [登録サイズ] ボタンを押します、左の画面が表示されますので、登録したい No. をクリックして の登録データ名に名称を入力してください。

名称入力が終われば [保存] ボタンを押して下さい。

次回起動時に設定を読み込む場合は [読込] ボタンで読み込む事ができます。

No.	名前	幅	ピッチ	ワーク種類
1	記録板 7.0幅	7.00	8.00	端子記録板
2	記録板 7.8幅	7.80	8.00	端子記録板
3	記録板 8.0幅	8.00	8.00	端子記録板
4	記録板 9.5幅	9.50	8.00	端子記録板
5	記録板 10.0幅	10.00	8.00	端子記録板
6	記録板 12.0幅	12.00	8.00	端子記録板
7	長尺ラベル 5.0幅	5.00	20.00	長尺ラベル(端)
8	長尺ラベル 6.0幅	6.00	25.00	長尺ラベル(端)
9	長尺ラベル 7.0幅	7.00	30.00	長尺ラベル(端)

登録データ名: 記録板 7.0幅

読込 保存 キャンセル

最初から登録されている項目で使わない項目があればその No. を選択して新たに上書きすることが可能です。

## 6 , データ入力をする

初期設定が終わると右の画面が表示されます、

テキストボックスを選択してからデータを入力します、入力が終われば、「Enter」キーを押します。数量の入力を行います、数量の入力が終われば「Enter」キーで次の極の入力に移ります。

その後は と を繰り返す事で順番にデータを入力することができます。

No.	文字	数量
1		
2		
3		
4		
5		

1行目

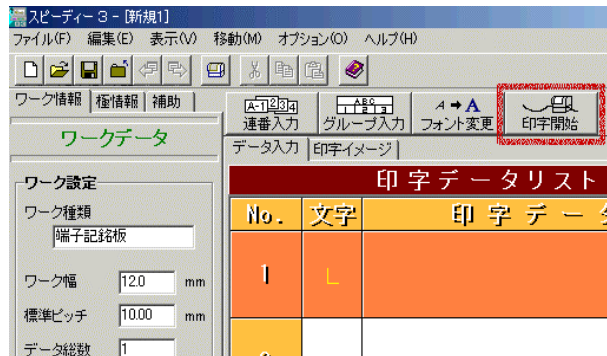
数量

漢字の入力をする場合は、Windows 標準の I M E ソフト (日本語入力ソフト) に対応していますので、

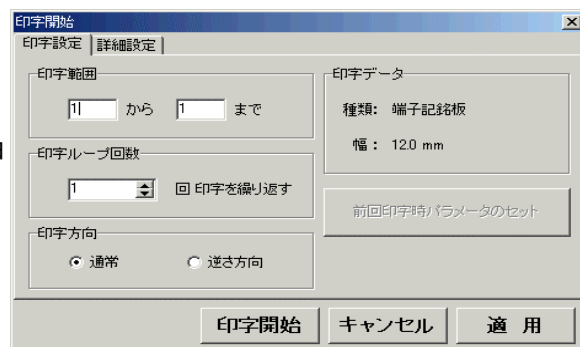
I M E ランチャーでかな入力に設定するか、Alt + 半角キーでかな入力にしてからデータの入力を行って下さい。(MP-60 全角・半角、端子・チューブ文字等のフォントでは漢字・ひらがな等の2バイト文字の入力はいけません)

## 7. 入力データの印字をする

入力したデータを印字する場合は右図の[印字開始]ボタンをクリックするか F4 キーを押して下さい。

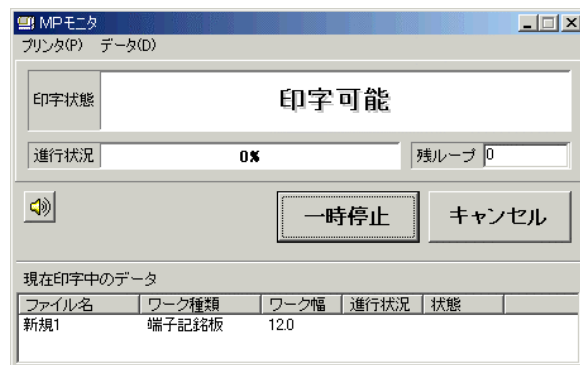


次に[印字開始]の画面が表示されます。印字範囲を指定して、ループ回数、印字方向を設定して[印字開始]ボタンを押して下さい。



「MP モニタ」が表示され印字が始まります。

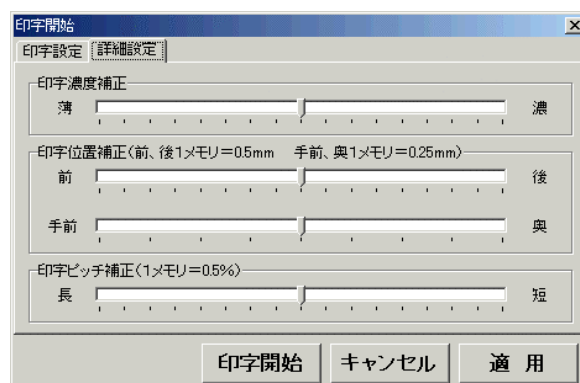
一時停止をしたい場合は[一時停止]ボタン、印字を中止したい場合は[キャンセル]ボタンを押して下さい。



印字位置が設定通りに印字されない場合は[印字開始]画面の[詳細設定]のページを開いて下さい。

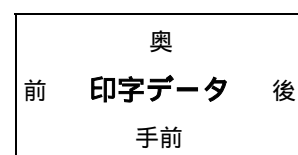
ここではデータを印字した時の印字濃度や印字位置、印字ピッチの補正の設定が出来る様になっています。

この設定を行うと次回起動時にも設定が有効になります。



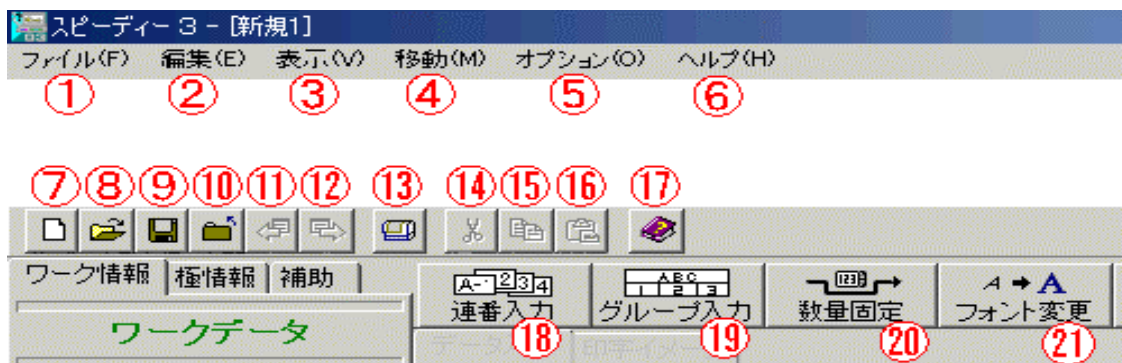
印字位置は右記の様に印字のズレと反対方向にメモリを移動して下さい。

印字方向



# , 応用操作編

この章ではより素早く簡単にデータ入力をする方法について説明しています。



## 1, 各ランチャーの説明

ファイル(F)	新しくデータの作成をしたり、編集したデータを保存したりスピーディー 3 を終了したりできます。
編集(E)	編集中のデータをコピーしたり貼り付けすることができます。
表示(V)	データリストや印字イメージの表示の変更ができます。
移動(M)	表示中の極から指定極や先頭・最終極に移動したり、データの検索ができます。
オプション(O)	環境設定や MP-03Win 本体の各センサーの点検をすることができます。
ヘルプ(H)	ヘルプファイルを見たり、ソフトのバージョンが確認できます。
新規作成	新しく編集画面を開きます。
ファイルを開く	保存されているファイルを開きます。
保存	編集中のデータを保存します。
ファイルを閉じる	編集中のファイルを閉じます。
移動(前)	複数の編集画面を起動している時に前の画面に移動できます。
移動(次)	複数の編集画面を起動している時に次の画面に移動できます。
印字状態	MP-03Win 本体が印字中なのかどうかを確認できます。
切り取り	編集データを選択して切り取る事ができます。
コピー	編集データを選択してコピーする事ができます。
貼り付け	や でクリップボードに保存しているデータを貼り付けます。
ヘルプ	ヘルプファイルを開きます。
連番入力	数字やアルファベットを連番します。
グループ印字	グループ印字をおこないます。
数量固定	データ入力時のカーソルの移動が数量をとばして移動します。
21 フォント変更	データ入力中に選択範囲のフォントを変更します。

## 2 , マウスの右クリックメニューを使う

ここではデータ（極）を選択してマウスの右クリックをした時の編集について説明しています。

編集画面でデータが入力されている極をマウスの右クリックで選択して下さい。右図の様なメニューが表示されますので行いたい作業を選択します。

データ入力

印字イメージ

印 字 デ ー タ リ ス ト		
No.	文字	印 字 デ ー タ
1	L	123
2	L	456
3	L	<div> <div>極の切り取り(T)    Ctrl+X</div> <div>極のコピー(C)    Ctrl+C</div> <div>極の貼り付け(P)    Ctrl+V</div> <div>極の挿入(I)</div> <div>極の削除(D)    Ctrl+Del</div> <div>連番入力(S)</div> </div>

**極の切り取り(T)**

選択した極を切り取り一時的に記憶します。

**極のコピー(C)**

選択した極をコピーして一時的に記憶します。

**極の貼り付け(P)**

極の切り取りや極のコピーで記憶したデータを他の極を選択して貼り付けます。(データを一時的に記憶していない時は上図の様に使用できません)

**極の挿入(I)**

選択した極に空白の極を挿入します。

**極の削除(D)**

選択した極を極ごと削除します。

**連番入力(S)**

選択した極から連番入力を開始します。

連番入力の方法は次章 3 , 連番入力をする をご覧下さい。

### 3,連番入力をする

編集画面から連番したい極を選択し、

[連番入力]ボタンをクリックします。

右図の画面が表示されます。

連番の最初のデータを入力して[Enter]キーを押します。

連番の最後のデータを入力して[Enter]キーを押します。

連番モードには 10 進、16 進、アルファベットの3種類がありますので、その中から選択してください。

1極の中に複数の行を持つデータの

場合に連番したい行を1～3行の中から選択して下さい。

連番を組む時に1, 3, 5, 7, の様にステップで組みたい場合にステップ数を入力します。

(ステップしない場合は1を入力します)

～ の設定が全て終われば「OK」ボタンを押すと連番が開始されます。



## 4. フォント・文字サイズを変更する

フォント・文字サイズを変更する場合には3種類の方法があります、

その方法には下記の様な意味があります。

現在編集中の全てのフォント・文字サイズを(入力が終わっているデータも含む)変換する。

指定した極のフォント・文字サイズを変換する、又は編集データの次の極から変更する。

極中の特定の行だけ変更する。

この様に変換方法が細かく指定出来ますので、用途に応じて変換方法を選択して頂けます。

各文字のサイズは次の様になっています。

文字名	1文字の大きさ
SS サイズ	1 . 5 mm
S サイズ	2 . 0 mm
M サイズ	2 . 5 mm
L サイズ	3 . 0 mm
2L サイズ	4 . 0 mm
3L サイズ	5 . 0 mm
4L サイズ	6 . 5 mm
5L サイズ	8 . 0 mm
自動設定	

文字サイズはフォントにより大きさが異なる場合があります、  
印字環境(印字濃度、外気温)等にも左右されます。

自動設定を行うとワーク幅(高さ方向)に入力できる最大の  
文字をSSから5Lの文字サイズの中から自動的に選択して  
入力します。

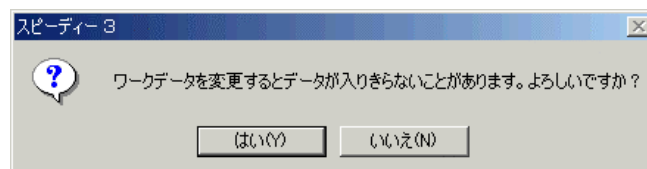
### 全てのフォント・文字サイズを変換する

全てのフォント・文字サイズを変換しますので入力が終わったデータでも変更が行えます。



編集画面からワーク情報の中の[初期設定の変更]のボタンを選択します。

変更するとデータが入りきらなくなるメッセージが表示されますので  
[はい]のボタンを押してください。



初期設定の画面が表示されますので、フォント・フォントサイズを変更  
して[全てOK]ボタンを押して下さい。



## 指定した極のフォント・文字サイズを変換する

データの一部の極やこれから入力するデータに対してのみ変更を行えます。



編集画面から変更したい極を選択して下さい(複数極の選択も可能です)

極情報の中の「フォント種類」の中のフォント名を変更します。

文字サイズを変更したい場合は「文字サイズ」の中のサイズ名をSS～5Lと自動設定の中から選択します。

これから入力するフォントやフォントサイズに対して変更したい場合はデータが入力されていない最終極を選択してから変更を行って下さい。

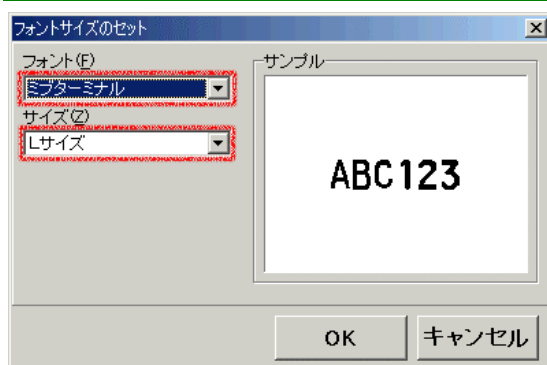
極情報内の変更項目はフォントや文字サイズ以外でも、選択した極、これから入力する極に対して有効になります。

## 極中の特定の行だけ変更する

この変更は極の中に2行以上の行が存在する時だけ変更することができます。

1行しか極の中に無い場合の変更は行えません。

変更したい行の編集パネルの中の[A]マークのボタンを押して下さい。



フォントサイズのセット画面が表示されますので、フォント、フォントサイズを選択して下さい。  
設定が終われば、[OK]ボタンを押して下さい。

## 5 , 記銘板のピッチを変更する

この章では記銘板のピッチ( 1 極の幅 )を編集集中に変更する方法について説明しています。

記銘板のピッチの変更方法には 3 種類の方法があります。

現在編集集中の全ての極ピッチを(入力が終わっているデータも含む)変更する。

編集データの次の極から変更する。

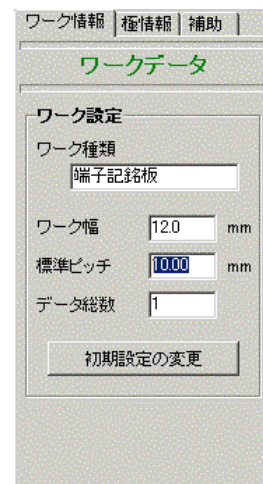
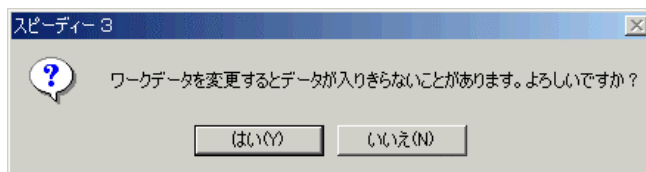
指定した極のピッチを変更する。

この様に変換方法が細かく指定出来ますので、用途に応じて変換方法を選択して頂けます。

### 全ての極ピッチを変更する

編集画面からワーク情報の中の[初期設定の変更]のボタンを選択します。

変更するとデータが入りきらなくなるメッセージが表示されますので「はい」のボタンを押してください。



初期設定の画面が表示されますので、ピッチを変更して[全てOK]ボタンを押して下さい。

### 編集データの次の極から変更する

この変更を行うと入力する次の極からピッチが変更でき、端子台の連結等に利用できます。

上図の編集画面からワーク情報の中の「標準ピッチ」を選択します。

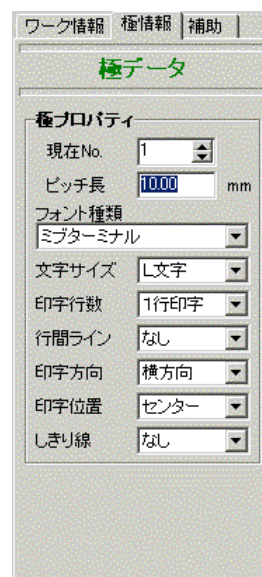
変更したい数値を入力すると、データの入力されていない次の極からピッチが変更されます。

## 指定した極のピッチを変更する

この変更は入力されたデータの一部（指定した極）を変更する事ができます。

編集画面から変更したい極を選択して下さい。（複数極の選択も可能です）

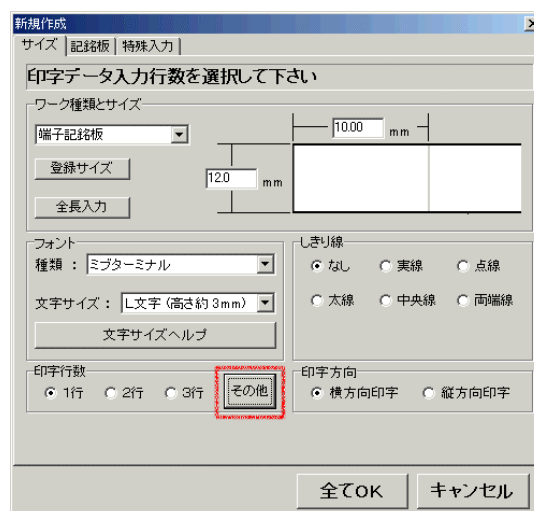
極情報の中の「ピッチ長」の数値を変更します。  
数値を入力すれば指定した極に反映されます。



## 6. 複数の段落を編集する

この章では複数の段落（印字方向で左右）を編集する方法について説明しています。

新規作成の初期設定の画面を開いて下さい。  
印字行数の中にある[その他]のボタンをクリックします。



右の様な画面が表示されますので、  
2段落目に必要な行数を選択して、2段落目の文字  
サイズを選択して下さい。

選択が終われば[OK]ボタンを押して下さい。



# 、環境設定編

この章ではより素早く簡単にデータ入力や環境の設定をする方法について説明しています。

## 1、環境設定のシステムを変更する

この設定を行うと起動時のパソコンとの通信やスピーディー 3 の全体設定が変更されます。

スピーディー 3 を起動してから  
「オプション」>「環境設定」を  
選択して下さい。

### シリアルポート

パソコン側のシリアルポートの何番  
のポートを使用するかを設定します。

### ボーレート

パソコンとMP-03Winの通信  
速度を設定します。(通常は変更しな  
いで下さい)

### ヘッド使用位置

MP-03Win本体の印字ヘッドの  
使用位置を1～3に変更します。

(ヘッド使用位置は本体側も変更が必要ですのでメカ取説をご参照ください)

### エラー発生時に音を鳴らす。

スピーディー 3 の中で設定出来ない数値や変更出来ない項目を操作した場合にピープ音  
で注意を行います。

### 印字終了時に音を鳴らす。

印字が終わった時に音でお知らせします。

### ウインドウの最下行にヒントを表示する。

スピーディー 3 の各ボタンをポイントすると画面の一番下に説明が表示されます。

### デフォルトで印字イメージを表示する。

編集画面の起動時に印字イメージを起動させます。

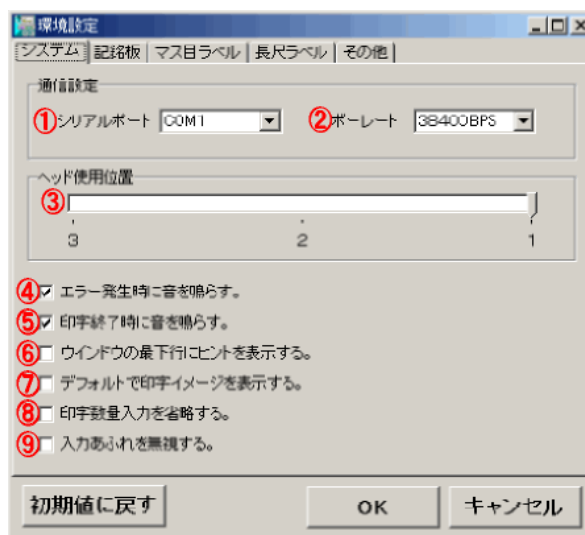
### 印字数量入力を省略する。

データ入力時に印字数量の入力を省略します、途中から数量変更する場合はデータ入力  
画面の[数量固定]ボタンを解除するか数量入力のボックスを選択して数量を入力して  
下さい。

### 入力あふれを無視する。

入力されたデータがピッチ内に収まらない場合、エラーとせずにあふれた文字を無視し  
て入力を確定します。

設定したデフォルト値を出荷時に戻したい場合は[初期値に戻す]ボタンを押して下さい。



## 2、環境設定のデフォルトを設定する

この設定を行うとウエーブ起動時の寸法やフォント種類などのデフォルト（初期値）を変更することが出来ます。

### 記銘板モードの環境を設定する

各ワーク毎にページが分かれていますので記銘板のページを選んで下さい。

#### デフォルトサイズ 幅

起動時のワークの幅（縦方向）を設定出来ます。

#### デフォルトサイズ ピッチ

起動時の極間（横方向）を設定出来ます。

#### デフォルトマージン 前

前側の余白長を設定出来ます。

#### デフォルトマージン 後

後側の余白長を設定出来ます。

#### 印字ポジション

データの位置を1つの極の前詰め、中央、後ろ詰めの配置を設定します。

#### デフォルトフォント

起動時に使用したいフォントを選択します。

#### 文字間ドット

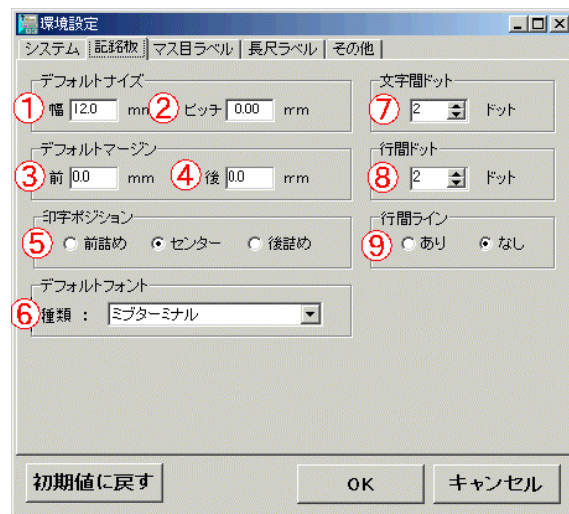
文字と文字の間隔をドット単位で設定します(8ドットが約1mm)

#### 行間ドット

2・3行印字時の行間隔をドット単位で設定します(8ドットが約1mm)

#### 行間ライン

2行・3行印字時の行間にしきり線を実線を入れます。



## マスメラベルモードの環境を設定する

各ワーク毎にページが分かれていますのでマスメラベルのページを選んで下さい。

### デフォルトサイズ 幅

起動時のワークの幅（縦方向）を設定出来ます。

### デフォルトサイズ ピッチ

起動時の極間（横方向）を設定出来ます。

### 「・」印字

データの指定位置に点「・」を自動的に付けます。

### 印字ポジション

データの位置を前詰め、中央、後詰めの配置を設定します。

### デフォルトフォント

起動時に使用したいフォントを選択します。

### 文字間ドット

文字と文字の間隔をドット単位で設定します(8ドットが約 1mm)

### 行間ドット

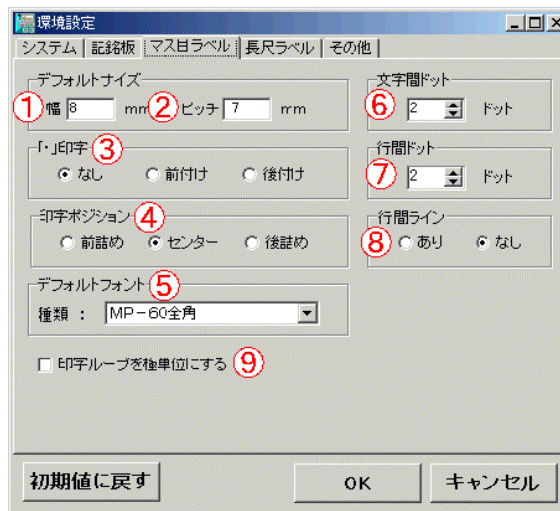
2行・3行印字時の行間隔をドット単位で設定します(8ドットが約 1mm)

### 行間ライン

2行・3行印字時の行間にしきり線を実線で入れます。

### 印字ループを極単位にする

データをループ（データを複数回数印字する事）で印字する時に極毎に指定ループ回数の印字を行います。





## 長尺ラベルモードの環境を設定する

各ワーク毎にページが分かれていますので長尺ラベルのページを選んで下さい。

### デフォルトサイズ 幅

ワークの起動時の幅（縦方向）を設定する事が出来ます。

### デフォルトサイズ ピッチ

ワークの起動時の極間（横方向）を設定出来ます。

### 「・」印字

データの指定位置に点「・」を自動的に付けます。

### 印字ポジション

データの位置を1つの極の前詰め、中央、後ろ詰めの配置を設定します。

### デフォルトフォント

起動時に使用したいフォントを選択します。

### 文字間ドット

文字と文字の間隔をドット単位で設定します(8ドットが約1mm)

### 行間ドット

2行・3行印字時の行間隔をドット単位で設定します(8ドットが約1mm)

### 行間ライン

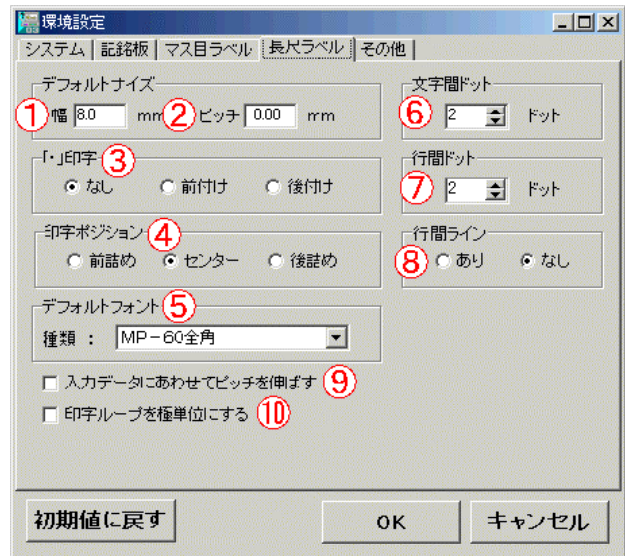
2行・3行印字時の行間にしきり線を実線を入れます。

### 入力データにあわせてピッチを伸ばす

入力データがデフォルトピッチを超えると自動的にワーク長を変更します。

### 印字ループを極単位にする

データをループ（データを複数回数印字する事）で印字する時に極毎に指定回数回の印字を行います。



### 3 , 環境設定のその他の項目設定する

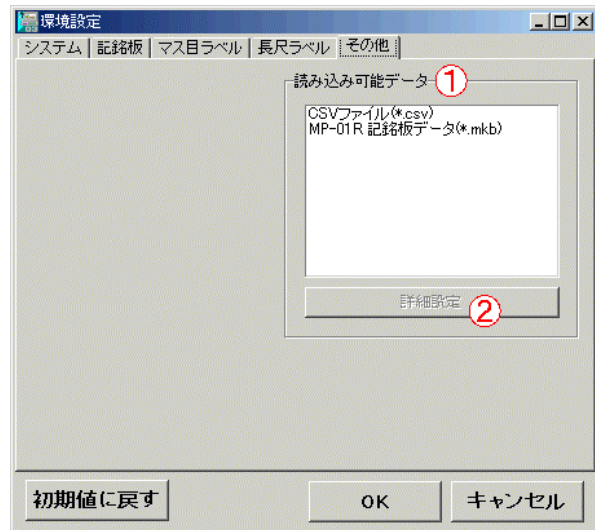
#### 読み込み可能データ

現在読み込み可能なファイル形式が表示されています。

ここに表示されているファイル形式のデータは読み込み可能になっています。

#### 詳細設定

ファイルを選択した場合に有効になります、詳細設定を開くと読み込みの時の設定が行えます。



例えば、CSV ファイル読み込み時の詳細設定の場合、

#### 初期ワーク種類

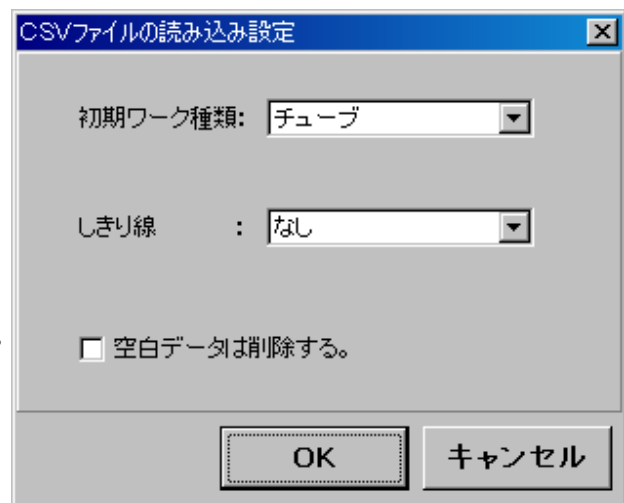
読み込み時のワーク種類を指定します。

#### しきり線

記録板データの読み込み時にしきり線を選択できます。

#### 空白データは削除する

C S V形式のデータで空白のデータが存在する場合にそのデータを削除します。





## 4 , C S Vファイルを変換して利用する

この章ではC S Vファイル（カンマ区切りのデータ、主に表計算ソフト等で良く使われています）を読み込み、編集する方法について説明しています。

あらかじめC S Vファイルを市販の表計算ソフト等で制作して下さい。

この時、必ず**保存形式をC S V形式**での保存を行って下さい、必ずファイルの拡張子が「C S V」の形式にする必要があります。

スピーディー 3 を起動し、スタートメニューから「ファイルを開く」ボタンを押して下さい。



の画面が表示されますので、ファイルの種類をC S Vファイルに変更してください。

ファイルの場所をC S Vファイルが保存されている場所を選択して下さい。

C S V形式の変換したいファイルが表示されれば、そのファイルを選択して下さい。

「開く」ボタンを押して下さい。「C S Vファイルの読込」画面が表示されますので続けて各設定を行って下さい。



MP - 0 3 Winのファイル形式に変換する際にワーク種類とワークサイズを指定します。

表内のどの列を印字データにするかを指定します、最大3行までのデータを変換する事が出来ます。

印字数量を全て同じ数量にするか、データの中で指定するかを選択します。

読込範囲を何行目から何行目までかを指定します。

読込オプションはその他の詳細な設定が出来ます。

全ての設定が終われば[すべて OK]ボタンを押して下さい。

ボタンを押すと変換が開始され編集画面が開かれます。

の読込オプションの設定は前ページの詳細設定をご覧下さい。

# 、特殊入力編

この章では文字だけを入力する以外に線や方眼、文字や記号をデータの背景として利用しオリジナルの書式を制作する方法について説明しています。

## 1、背景を作成する

新規作成画面の「サイズ」のページを開いて下さい、作成したいワークの設定を行ってから「特殊入力」のページを開いて下さい。

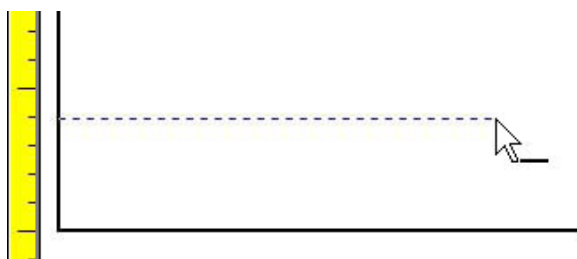
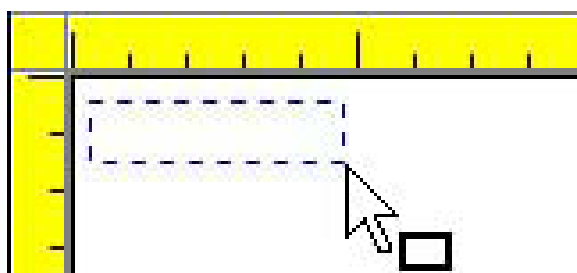
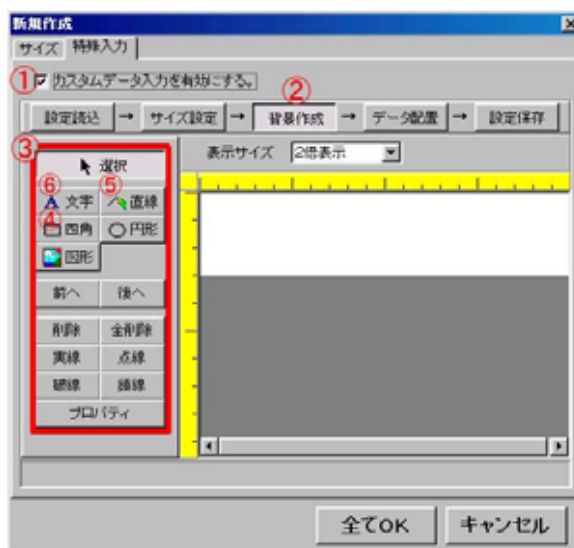
「カスタムデータ入力を有効にする」にチェックを入れて下さい。  
(チェックが入っていないとこの画面の操作は出来ません)

背景作成のボタンが押されている事を確認してから ツールバーの中から描きたい図形や文字を選択して下さい。

ツールバーの中から描きたい図形のボタンを押します。(ここでは四角と文字を使って説明をしています。)

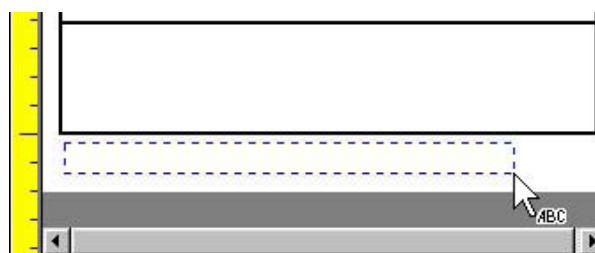
「四角」のボタンを押すとマウスポインタの表示が変わりますのでワークに描きたい始点にポインタを置きドラッグして大きさを調節して下さい。

次にツールバーの「直線」のボタンを押します、四角と同じ様に始点を決めてドラッグを行います。



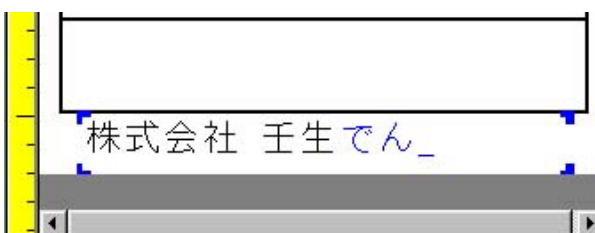
背景枠が描き終われば背景にロゴ（文字）を入れます。

ツールバーの「文字」ボタンを押します、図形ボタンと同じ様にワークの描きたい位置に始点を置きドラッグして大きさを調整します。



ドラッグが終わると指定した範囲にカーソルが点滅しますので文字を入力して下さい。

文字や図形はツールバーの「プロパティ」ボタンで詳細な設定が出来る様になっています、線の太さや文字種類、文字サイズは「プロパティ」ボタンを押して設定して下さい。



続いてデータを配置しますので**データ配置をする**に進んでください。

## 2, データ配置をする

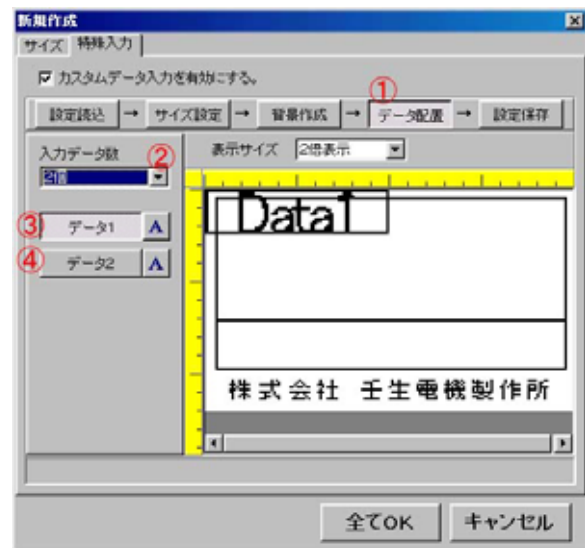
背景で制作した枠の中にデータを配置します。

「データ配置」ボタンを押して下さい。  
入力データ数を必要な数量に設定します。

「データ1」ボタンを押す

「Data1」の表示された四角形を必要な位置にドラッグします。

「Data1」と書かれた四角形の角の青い部分をドラッグするとデータエリアの大きさを変更することが出来ます。



「データ1」と同じ要領でデータを置きたい場所へドラッグします。

「データ1」等のボタンの横にある「A」ボタンを押すとそのデータ内の文字のサイズ

やフォントの種類を変更する事が出来ます。

設定を保存したい場合は「設定保存」ボタンを押しファイル名を入力して保存して下さい。  
設定を再利用しない場合はそのまま「全てOK」ボタンを押すと設定された背景が編集画面に反映されます。